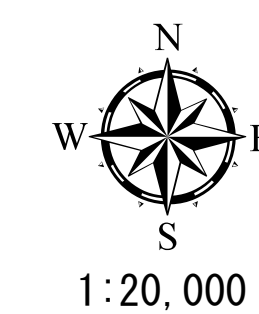
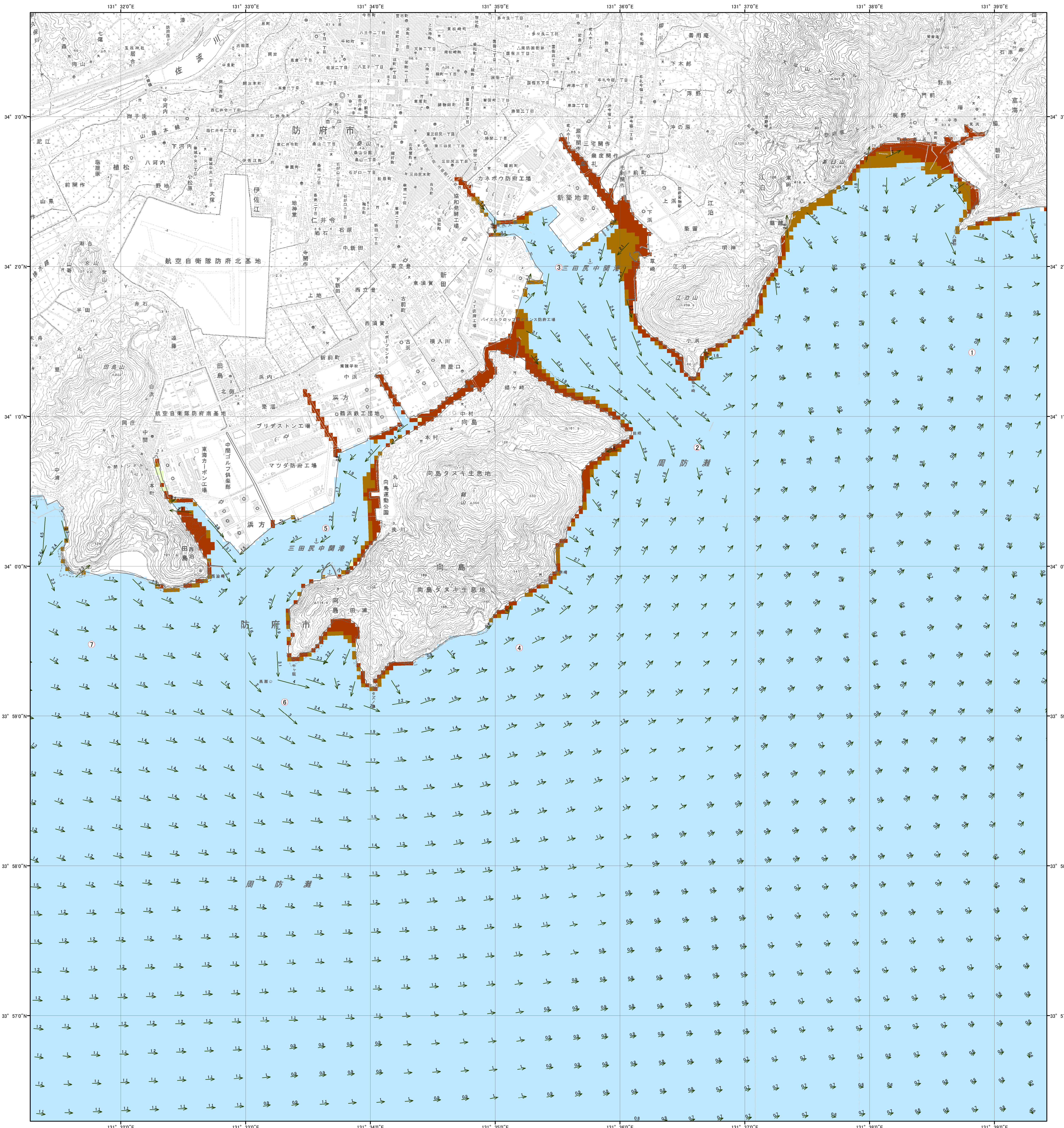


# 三田尻中関港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件：最低水面（零位）  
 隆起量：平均 0cm (-3cm ~ 2cm)  
 Zo：1.80m ~ 1.90m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



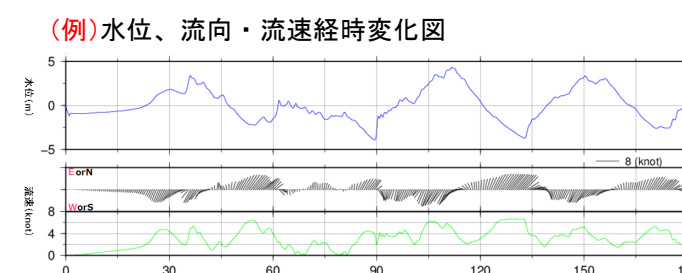
座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

## 凡例

最大水位低下

- 0.5~最大1.9m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

○ 経時変化図出力点  
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

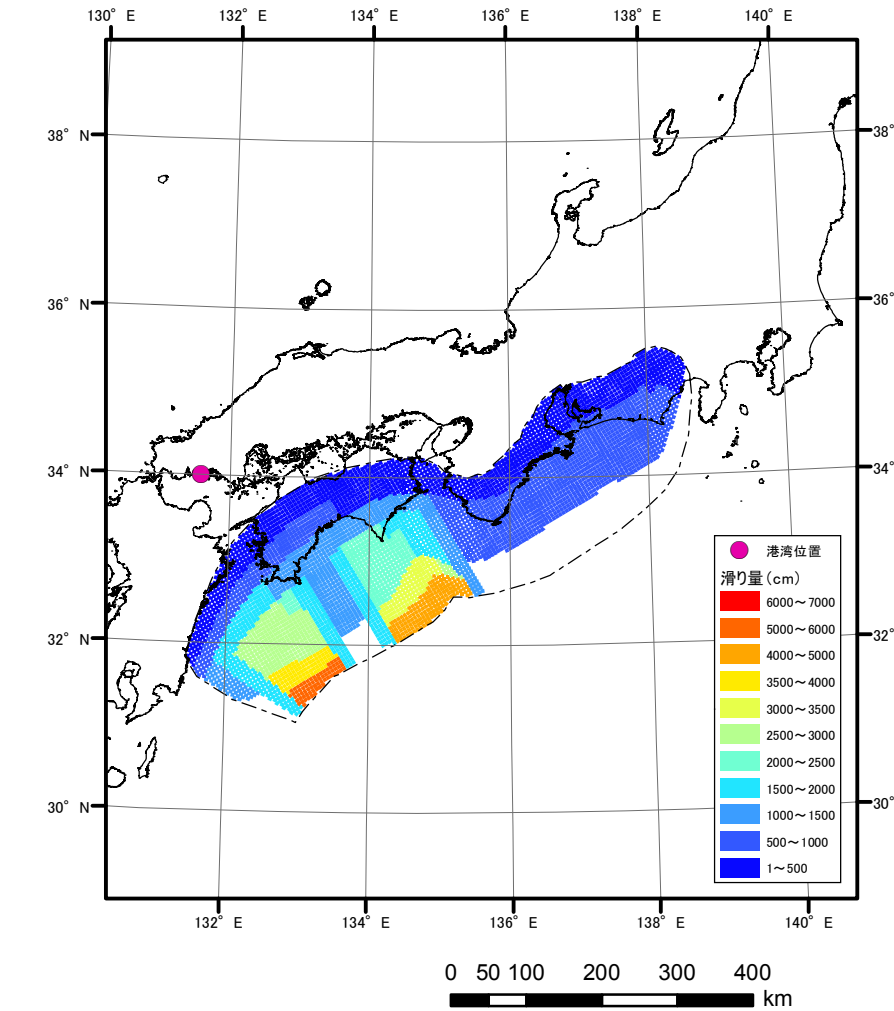


引潮時最大流 (knot)

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



ケース①「室戸岬沖と日向灘に『大すべり域+超すべり域』」

断層面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.6 × 10 <sup>22</sup>
平均すべり量 D (m)	11.2
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」（平成24年8月29日発表）により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

